

大垣市図書館だより

<http://www.ocpl.ogaki.gifu.jp>

〒503-0911 大垣市室本町5-51

平成27年

12月号

こつごもり 小晦日

十二月三十日は小晦日、三十一日は大晦日(おおつごもり)という呼び方がありますが、つごもりとは、月が隠れる、月籠りのこと。月齢で数える太陰暦では毎月末日は新月のころで、つごもりにあたります。ちなみに二十九日の九は「苦」を連想させるため、大掃除は二十八日までに済ませることとされていました。正月の準備を整えて、明日は大晦日で、さて、とちよつとぽっかり空いた時間ができることも。一年をふり返りつ、ぷらりと散歩もいいものです。

出典:『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版



芭蕉元禄大垣イルミネーション

図書館で暮らしを創ろう



make your Life & our Culture !



師走でも読書



生活情報コーナー (1階)



●年末年始のひとくふう
ラッピングのきほん事典
 宮田真由美
 385.97/ミヤ
 西東社



●湯ったり♪温泉に行こう！
冬の温泉宿
 291/
 三栄書房

家族の暮らし応援コーナー(1階)



●年末年始のお・も・て・な・し
3皿で、おもてなし
 行正り香
 596.4/ユキ
 小学館



(おせちを作ろう)
**簡単なのにきちんと作れる
おせち料理**
 井澤由美子
 596.4/イザ
 成美堂出版

一般閲覧室(2階)



●今月の作家「群ようこ」
かもめ食堂
 913.6/ムレ
 群ようこ
 幻冬舎



●今月の文庫「藤沢周平」
たそがれ清兵衛
 C/913.6/フジ
 藤沢周平
 新潮文庫



●読書のすすめ
明日も前へ
 367.7/ヨシ
 吉沢久子
 PhP研究所

大垣市図書館では、各館・各フロアで、季節に応じたミニ・ブックフェアを開催しています。ここでは、それぞれのフェアのなかでも、とくにおすすめの本をご紹介します。

●女たちの明治維新
 210.58/スス
 鈴木由紀子/著
 NHK出版



●10/1～
 ●一般閲覧室
 歴史展示コーナー

大垣の曾根村に生まれ、十四歳で漢詩人・梁川星巖に学び、のちに結婚します。紅蘭の才を認めた星巖は、当時では珍しく夫婦同伴で全国を周遊しました。安政の大獄の際、星巖も勤王派との交流により捕縛対象となりますが、本人がすでに病死したため、代わりに紅蘭が投獄されました。その間際、紅蘭は各地の志士からの文書などを全て処分し、何も話さず、半年にも及ぶ獄中生活に耐えました。

張紅蘭

美濃蘭学の祖とされる江馬蘭齋を父に持ち、少女の頃より漢詩や絵画において才能を発揮します。その後も芸術の道を歩み続け、生涯誰とも結婚することはありませんでした。二十七歳のとき、尊王攘夷運動に多大な影響を与えた『日本外史』の著者・頼山陽が蘭齋を訪ねてきたことで出会い、長らく教えを受けました。また、詩友である藩の重臣・小原鉄心や、梁川夫妻と交友し、政治にも関心を高めていきます。

江馬蘭齋

☆☆幕末明治特集☆☆
 女たちの見た明治維新
 ～時代を支えた人たち～





子どもと本のページ



<http://www.is.ocpl.ogaki.gifu.jp/kodomo.html>

子どもとおはなし、わらべうたⅡ

絵本やわらべうたで子育てを楽しみましょう♪

- 講師 落合美和子さん(子どもの本の研究家)
- 日時と内容

平成28年1月17日(日) 14時～16時 講演『こどもの心に灯をともしわらべうた』
 1月18日(月) 10時～11時 講演『親子で楽しむ絵本とわらべうた』
 13時～14時 講演『親子で楽しむ絵本とわらべうた』

- 場所 森のいずみ(大垣市禾森町2-17-1)
- 募集 1月17日 大人15名 参加費100円
 1月18日 10時～:親子10組 参加費100円
 13時～:親子10組 参加費100円
- 申込 12月16日(水)より大垣市立図書館にて(☎78-2622)



インターンシップ学生によるおすすめ本の展示

図書館でインターンシップ(職業体験)を行った中高生おすすめの本を展示しています。本とともに紹介カードも展示しています。紹介カードの一部をご紹介しますので、本を選ぶ参考にしてみてください♪



獣の奏者
 913/ウエ
 上橋菜穂子
 講談社

心を傷めた主人公が自らを魔女と呼ぶおばあちゃんと過ごし、少しずつ成長していく物語。作中でおばあちゃんが言う「アイ、ノウ」は魔法のような言葉。最後のシーンは涙なしでは見られません。この一冊に出会って人生が変わりました。この本のおかげで本が大好きになりました。
 大垣西高X

幼くして母を亡くしたエリン。孤児となったエリンは蜂飼いのジョウンに助けられ暮らす中で王獣と出会い、その姿に魅了されていく。少女エリンの成長をえがいた物語です。
 西部中Y



西の魔女が死んだ
 913/ナシ
 梨木香歩
 小学館



雨ふる本屋
 913/ヒナ
 日向理恵子
 童心社

この本は、その曜日におきた出来事を絵を使ったりしておもしろく再現されています。とてもおもしろいので、ぜひ読んでみてください！
 西中X



グレッグのダメ日記
 933/キニ
 ジェフ・キーニー
 ポプラ社

おつかいを頼まれたルウ子。家に帰ろうと思ったら雨が…一匹のカタツムリに連れられて辿り着いたのは不思議な本屋。そこでの経験を通してルウ子は忘れた物語を思い出す…。
 大垣西高S



大垣城の歴史
 215.3/シミ
 清水進 / 著
 大垣市
 文化財保護協会/発行

城下町大垣のシンボルでもある大垣城。人々から親しまれてきた大垣城がいつできたのかについては諸説がありますが、天文四年(一五三五)、戦国時代の武将・宮川安定が創建したとされています。今回、紹介する本、清水進著『大垣城の歴史』には、大垣城のはじまりや門や瓦などのお城の構造、歴代の大垣城主、明治維新から現在に至るまでの大垣城についてなど、コラムを交えながら書かれています。

大垣城は、昭和二十年(一九四五)空襲により焼失しましたが、戦後再建され、現在もその姿をみることが出来ます。

大垣城築城四百八十年にあたる今年、大垣市では、お城にまつわるさまざまなイベントが行われ、十二月二十日には「大垣城お城検定」が開催されます。

この本を読んで、大垣城の文化や歴史を知るきっかけになればと思います。

大垣市電子図書館からも電子書籍として閲覧・貸出しています。

『大垣の本いろいろ④』



所蔵品展



大垣城の記録-古絵図・古写真・絵葉書で見る大垣城の歴史-展

- 11月1日(日)～12月27日(日)
- 3階郷土資料室 展示コーナー

今年で築城480年を迎える大垣城について、江戸時代～現在までの歴史を当館所蔵の古絵図・古写真・絵葉書を通して紹介します。



「大垣城下大絵図」(当館蔵) 「明治初年の大垣城」(当館蔵)

おはなし会



乳幼児のためのおはなし会「おひざでだっこ」

大垣 毎月第1土曜日・毎週水曜日 10:30～11:00
 上石津 毎月第1・3金曜日 10:30～11:00
 墨俣 毎月第1・3金曜日 10:30～11:00

おはなしの時間

大垣 毎週土・日曜日 14:00～14:30
 上石津 毎月第2・4土曜日 14:00～14:30
 墨俣 毎月第2・4土曜日 14:00～14:30



日	月	火	水	木	金	土
11/29 ❄️	11/30 休) 墨俣	1 休) 大垣/上石津	2	3	4	5 ❄️
6	7 休) 墨俣 大垣 「現代文学講座」 13:30～	8 休) 大垣/上石津	9 🍓	10 大垣 「ママとあかちゃんの おはなし・わらべ歌」 10:00～	11 大垣 「ふるさと 古文書講座」 10:00～	12
13 大垣 「わくわく 映像らんど」 14:00～	14 休) 墨俣	15 休) 大垣/上石津 ❄️	16	17	18 🎅	19 大垣 「市史活用講座」 13:30～ 「古典文学講座」 13:30～ 「おりがみの時間」 14:30～
20	21 休) 墨俣 大垣 「現代文学講座」 13:30～	22 休) 大垣/上石津	23 天皇誕生日	24 休) 大垣/上石津/墨俣	25	26 ❄️
27 大垣 「わくわく 映像らんど」 14:00～	28 休) 墨俣	29 休) 大垣/上石津/墨俣	30 休) 大垣/上石津/墨俣	31 休) 大垣/上石津/墨俣	1/1 休) 大垣/上石津/墨俣	1/2 休) 大垣/上石津/墨俣
大垣・上石津は1月3日まで、墨俣は1月4日まで休館します。						

電話自動音声応答サービス 78-0070

大垣市図書館 78-2622 上石津図書館 45-3118 墨俣図書館 62-3900

<http://www.ocpl.ogaki.gifu.jp>